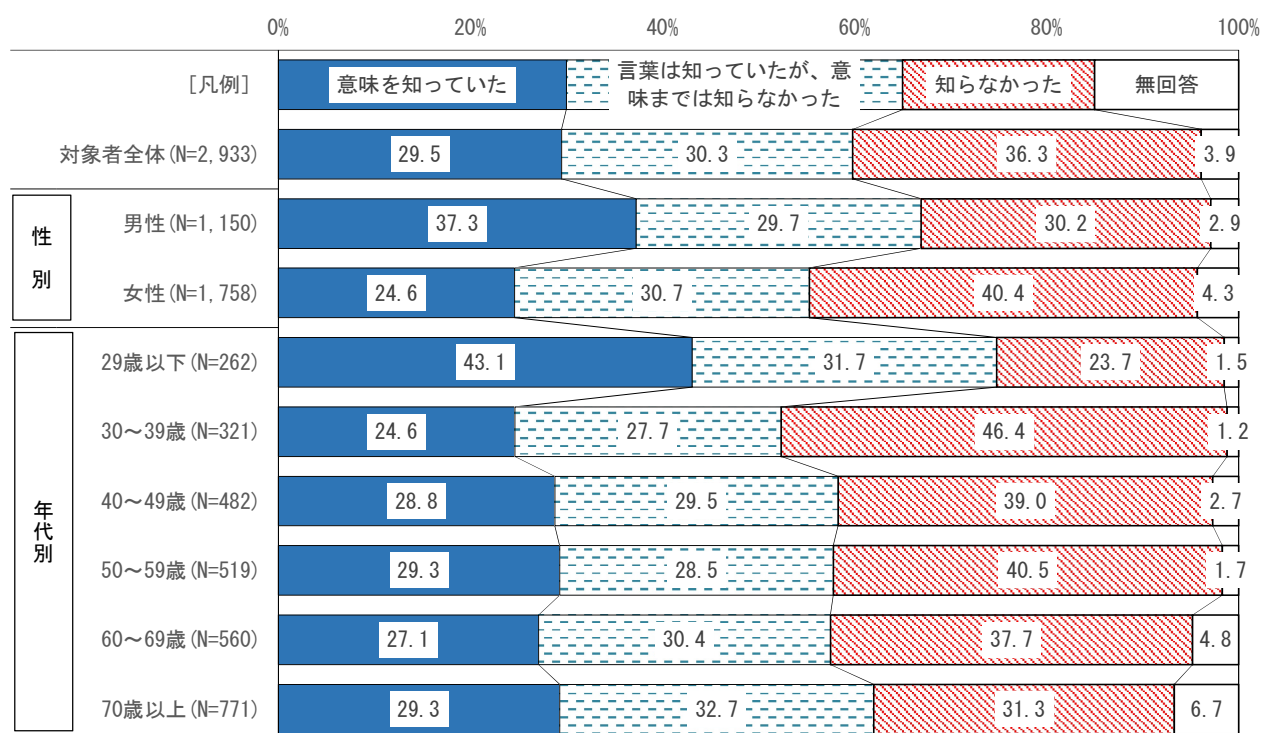
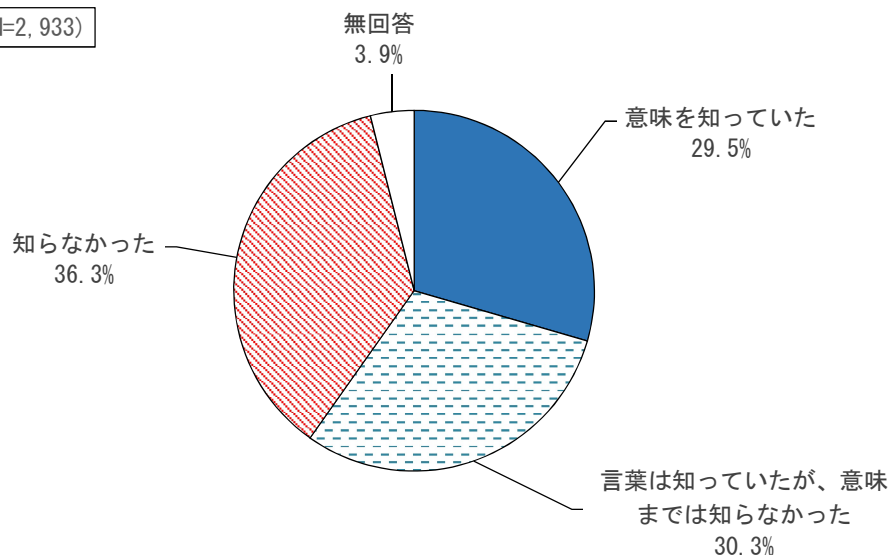


◇「生物多様性」の認知度

問9 あなたは、「生物多様性」という言葉の意味を知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「生物多様性」という言葉の意味を知っていた人は 29.5%

対象者全体 (N=2,933)



【全体】「生物多様性」という言葉について、「意味を知っていた」が 29.5%、「言葉は知っていたが、意味までは知らなかった」が 30.3%、「知らなかった」が 36.3%となっている。

【性別】「意味を知っていた」は、男性で 37.3%と、女性の 24.6%より 12.7 ポイント高くなっている。

【年代別】「意味を知っていた」は、29歳以下 (43.1%) で最も高く、最も低い 30歳代 (24.6%) とは、18.5 ポイントの差となっている。

問9 生物多様性の意味を知っていた …… 「意味を知っていた」

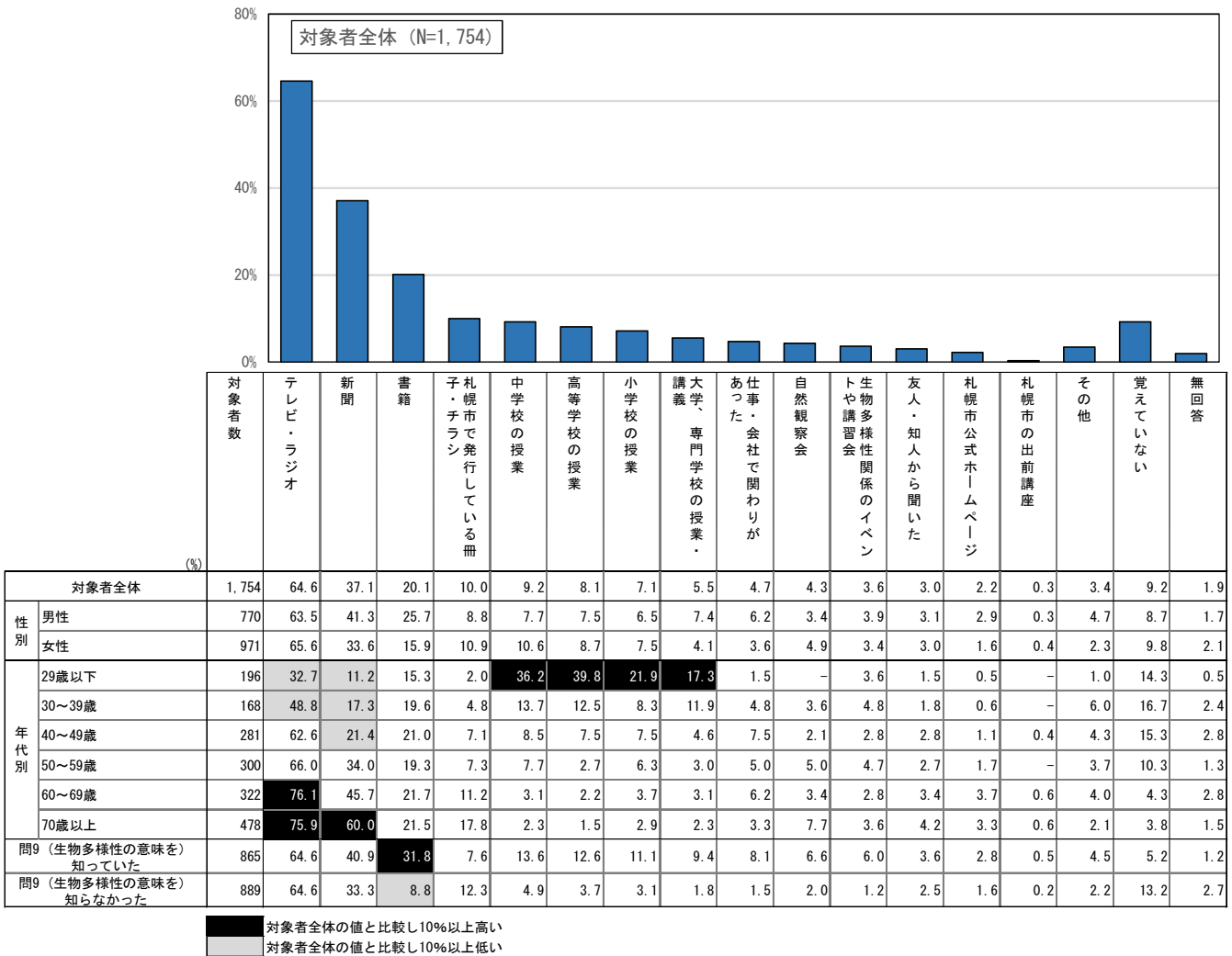
生物多様性の意味を知らなかった … 「言葉は知っていたが、意味までは知らなかった」+「知らなかった」

◇「生物多様性」を知ったきっかけ

《問9で「1 意味を知っていた」または「2 言葉は知っていたが、意味までは知らなかった」と答えた方にお聞きします。》

問9-1 あなたが「生物多様性」を知ったきっかけは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「生物多様性」を知ったきっかけは「テレビ・ラジオ」が 64.6%



【全体】「生物多様性」を知ったきっかけは、「テレビ・ラジオ」が 64.6%、「新聞」が 37.1%、「書籍」が 20.1%となっている。

【性別】「新聞」、「書籍」は、男性が女性より 5.0 ポイント以上高くなっている。

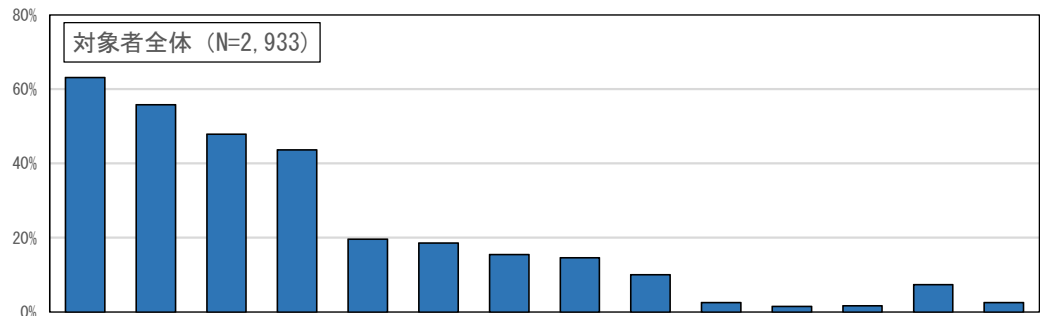
【年代別】「新聞」、「札幌市で発行している冊子・チラシ」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「中学校の授業」、「高等学校の授業」、「小学校の授業」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

【問9回答別】「書籍」は、生物多様性の言葉の意味を知っていた人で 31.8%と、言葉の意味を知らなかった人の 8.8%より 23.0 ポイント高くなっている。

◇「生物多様性」の保全につながる行動で行っているもの

問10 次の行動は、「生物多様性」の保全につながる行動ですが、あなたが実際に行っているものはありますか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

「生物多様性」の保全につながる行動で行っているものは「節電や適切な冷暖房温度の設定をしている」が63.1%



		対象者数	の節電や適切な冷暖房温度の設定をしている (%)	地元の食材を選んで購入している (%)	旬の食材を選んで購入している (%)	最後まで責任を持って育てている (%)	生き物を飼育するときは環境に配慮した商品を購入している (%)	外に出で積極的に自然の中で過ごしている (%)	自然や生き物について家族や友人と話をしている (%)	身近な生き物を観察している (%)	円山動物園の活動を応援している (%)	自然保護活動や美化活動に参加している (%)	自然観察会や講演会などに参加している (%)	その他の行動 (%)	上記の行動はしていない (%)	無回答 (%)
対象者全体		2,933	63.1	55.8	47.9	43.7	19.6	18.6	15.5	14.6	10.0	2.5	1.5	1.7	7.4	2.5
性別	男性	1,150	55.0	46.3	37.8	36.3	15.2	20.2	11.3	15.0	7.5	2.5	1.0	1.8	11.6	2.4
	女性	1,758	68.7	62.2	54.5	48.4	22.4	17.6	18.4	14.3	11.6	2.4	1.8	1.6	4.7	2.3
年代別	29歳以下	262	59.2	33.6	28.2	42.4	11.1	18.7	14.5	13.7	8.4	1.1	1.1	0.4	12.2	1.5
	30～39歳	321	63.6	42.1	41.1	45.5	11.8	20.9	15.6	18.1	10.3	1.2	1.2	1.2	9.7	1.2
	40～49歳	482	62.0	60.4	47.7	52.3	16.6	17.0	18.7	16.0	10.6	1.2	1.0	1.7	7.1	0.4
	50～59歳	519	67.8	60.3	51.6	46.6	19.3	17.1	17.3	17.0	10.4	1.5	1.5	2.1	6.2	1.0
	60～69歳	560	65.4	60.7	52.9	42.1	23.8	17.3	12.7	11.8	9.3	2.9	1.1	1.6	6.3	2.7
	70歳以上	771	61.0	60.2	51.8	37.0	24.9	20.6	15.0	13.2	10.4	4.5	2.2	2.1	6.6	4.9
問9 (生物多様性の意味を知っていた)		865	67.6	59.8	49.4	47.2	27.9	24.5	23.5	21.7	13.1	5.2	3.4	3.0	5.0	1.2
問9 (生物多様性の意味を知らなかった)		1,955	61.5	54.2	47.4	42.3	16.0	16.3	11.9	11.6	8.7	1.2	0.7	1.0	8.5	2.3

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】「生物多様性」の保全につながる行動で行っているものは、「節電や適切な冷暖房温度の設定をしている」が63.1%、「地元の食材を選んで購入している」が55.8%、「旬の食材を選んで購入している」が47.9%となっている。

【性別】「節電や適切な冷暖房温度の設定をしている」、「地元の食材を選んで購入している」、「旬の食材を選んで購入している」、「生き物を飼育するときは最後まで責任を持って育てている」は、女性が男性より10.0ポイント以上高くなっている。

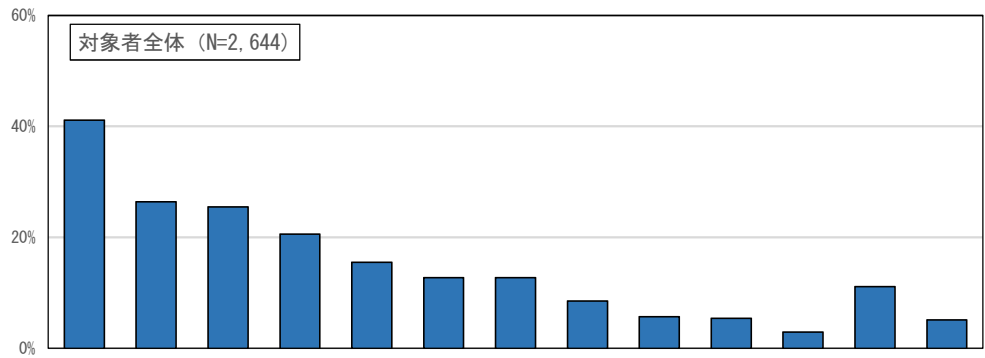
【年代別】「地元の食材を選んで購入している」は、60歳代(60.7%)で最も高く、最も低い29歳以下(33.6%)とは、27.1ポイントの差となっている。「環境に配慮した商品を購入している」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇「生物多様性」の保全につながる行動で課題があると感じるもの

《問10で「1」から「12」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問10-1 あなたが「生物多様性」の保全につながる行動をする中で、課題があると感じることは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「生物多様性」の保全につながる行動をする中で、課題があると感じることは「行動の効果や成果が見えにくい」が41.1%



		対象者数	行動の効果や成果が見えにくい	周囲の関心が低い	今の行動のほかに何をしたらよいかわからない	今行っている行動が正しいかどうかかわからない	時間がない	お金がかかる	評価されることが少ない	一緒にやる人がいない	面倒である	活動を行う場所がない	その他	特にない	無回答
対象者全体		2,644	41.1	26.4	25.5	20.6	15.5	12.7	12.7	8.5	5.7	5.4	2.9	11.1	5.1
性別	男性	989	47.5	27.3	20.8	22.5	15.1	14.9	15.9	8.6	6.2	7.7	3.2	10.5	3.9
	女性	1,635	37.6	26.1	28.4	19.4	15.8	11.4	10.9	8.4	5.4	4.1	2.8	11.4	5.7
年代別	29歳以下	226	46.0	34.5	22.1	24.8	20.8	22.6	20.4	8.8	11.9	3.1	1.3	8.0	0.4
	30～39歳	286	46.9	29.0	28.7	24.5	18.2	19.6	14.3	8.7	7.7	7.7	2.1	9.1	1.0
	40～49歳	446	43.9	27.4	28.5	25.6	20.6	18.2	13.5	7.0	6.7	3.6	2.2	10.1	1.1
	50～59歳	482	43.2	24.9	28.8	19.9	18.9	11.6	10.2	8.5	5.4	5.2	3.9	11.4	1.0
	60～69歳	510	42.7	25.9	26.9	18.6	13.7	8.8	11.6	7.3	4.1	7.5	2.2	11.6	7.3
	70歳以上	682	33.1	23.6	19.9	16.4	8.1	6.5	11.9	10.4	3.5	5.1	4.1	13.0	12.3
問9 (生物多様性の意味を知っていた)		812	47.0	31.9	19.7	22.9	15.0	13.4	15.5	8.3	6.4	5.8	4.2	9.1	3.1
問9 (生物多様性の意味を知らなかった)		1,743	38.9	24.2	28.1	19.7	16.1	12.7	11.5	8.6	5.6	5.1	2.4	12.2	5.3

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】「生物多様性」の保全につながる行動をする中で、課題があると感じることは、「行動の効果や成果が見えにくい」が41.1%、「周囲の関心が低い」が26.4%、「今の行動のほかに何をしたらよいかわからない」が25.5%となっている。

【性別】「行動の効果や成果が見えにくい」、「評価されることが少ない」は、男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。また、「今の行動のほかに何をしたらよいかわからない」は、女性で28.4%と、男性の20.8%より7.6ポイント高くなっている。

【年代別】「行動の効果や成果が見えにくい」は、30歳代(46.9%)で最も高く、最も低い70歳以上(33.1%)とは、13.8ポイントの差となっている。「お金がかかる」、「面倒である」は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

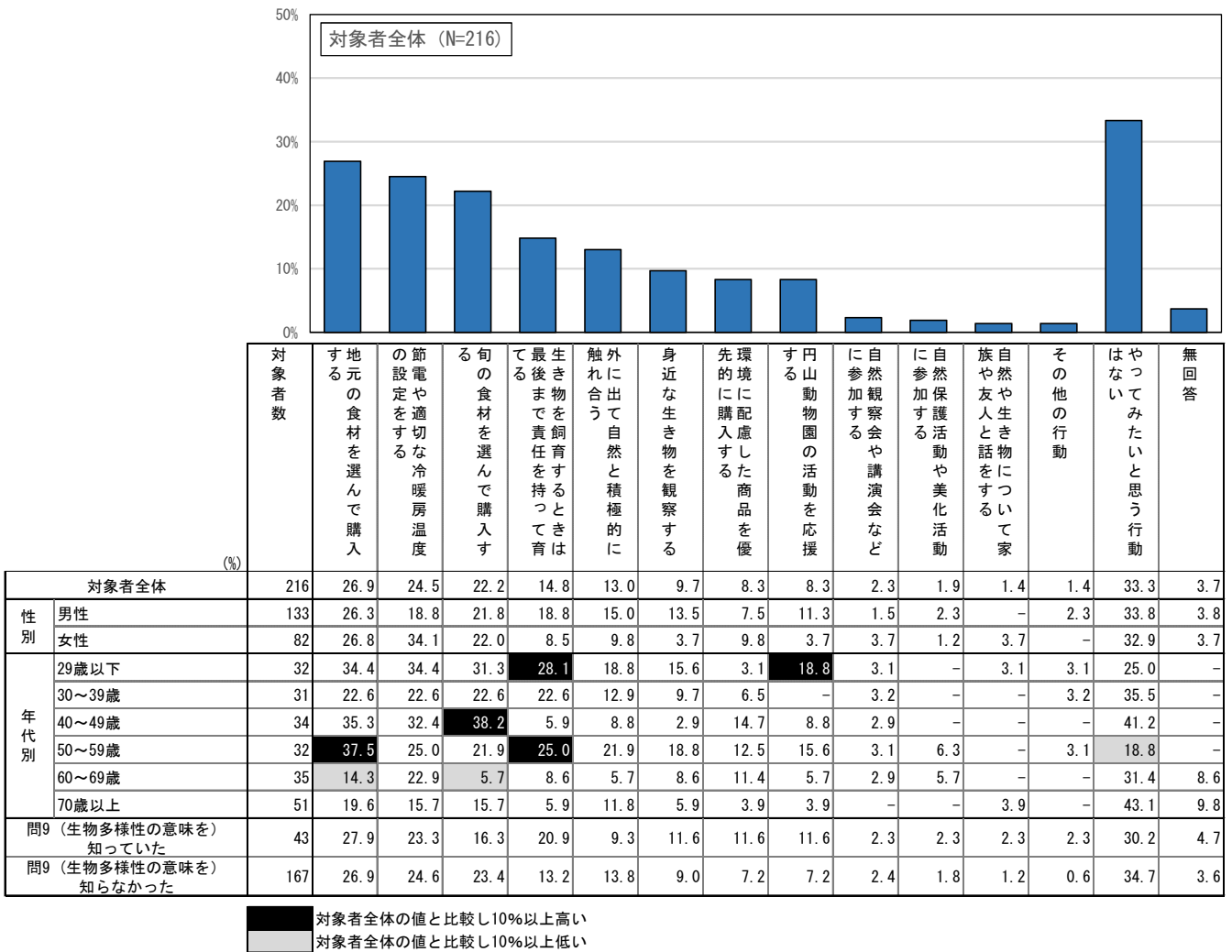
【問9回答別】「今の行動のほかに何をしたらよいかわからない」は、生物多様性の言葉の意味を知らなかった人で28.1%と、言葉の意味を知っていた人の19.7%より8.4ポイント高くなっている。

◇「生物多様性」の保全につながる行動のうちやってみたいもの

《問10で「13 上記の行動はしていない」と答えた方にお聞きします。》

問10-2 次の「生物多様性」の保全につながる行動のうち、今後やってみたいと思うものはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「生物多様性」の保全につながる行動のうち、やってみたいと思うものは「地元の食材を選んで購入する」が26.9%



【全体】「生物多様性」の保全につながる行動のうち、今後やってみたいと思うものは、「地元の食材を選んで購入する」が26.9%、「節電や適切な冷暖房温度の設定をする」が24.5%、「旬の食材を選んで購入する」が22.2%となっている。

【性別】「節電や適切な冷暖房温度の設定をしている」は、女性で34.1%と、男性の18.8%より15.3ポイント高くなっている。また、「生き物を飼育するときは最後まで責任を持って育てる」、「外に出て自然と積極的に触れ合う」、「身近な生き物を観察する」、「円山動物園の活動を応援する」は、男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。